

医療法人社団研仁会 北海道脳神経外科記念病院

ニュークックチル&電化厨房で
 計画的な調理システムを構築し、
 患者さまに温かく安全な食事を提供。



そのヒミツは…?



● 栄養管理課主任 管理栄養士
 佐々木 景子氏

患者さまにとって食は入院中の大きな楽しみです。そのため、ご意見やご希望をおっしゃる方もいらっしゃいます。それを解決しようと導入したのがニュークックチルシステムです。最初は電化厨房を扱うことも初めてでしたし、ニュークックチルは経験もないため不安でした

が、慣れてしまうと、調理場は涼しくて快適ですし、もう以前の燃焼式厨房&クックサーブのやり方には戻れませんね。

ニュークックチルは事前に調理し保存することができるので、作業の見通しがつけ易く、計画的な調理がし易いです。以前は、食事を出す時刻めがけての作業が、ある時間に集中していたのですが、今は比較的空いている時間帯に調理して保存しておくことができます。新しく回復期リハビリテーション病棟ができ、調理食数が増えたにも関わらず、スタッフの人数は無理なく最小限に抑えられています。

134床分の3食と職員の昼食も作っていますが、スタッフはパートタイマーを含めて10人。以前のシステムでは到底できなかったと思います。食べ物の温度管理がしっかりでき、温かいものは温かく、冷たいものは冷たいまま提供できるなど、おいしさと食中毒のリスク軽減を同時にでき、安心して提供できるのが嬉しいです。

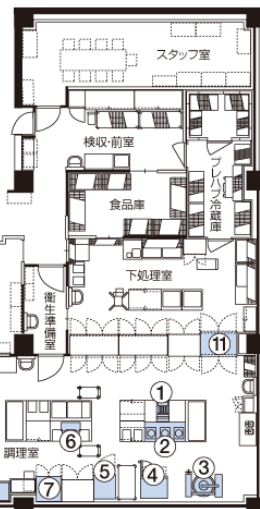


食べる時刻に合わせて温め配膳できる再加熱カート。



真空包装して一次加熱した食材を1～2℃の冷水で冷却するタンブルチラー。

厨房設備機器



- 1.電気フライヤー 3φ200V 6.4kW×1台
- 2.IH調理器 3φ200V 3.0kW×3台
- 3.電気回転釜 3φ200V 14.3kW×1台
- 4.スチームコンベクションオープン(10段) 3φ200V 19.68kW×1台
- 5.プラスチック&ショックフリーザー 3φ200V 3.0kW×1台
- 6.真空(ホットパック)包装機 1φ100V 0.8kW×1台
- 7.食器消毒保管庫 3φ200V 6.4kW×1台
- 8.タンブルチラー 3φ200V 2.0kW×1台
- 9.マイコン自動炊飯器 3φ200V 6.8kW×4台
- 10.食器洗浄機 3φ200V 14.95kW×1台
- 11.食器消毒保管庫 3φ200V 9.75kW×3台
- 12.再加熱カート 3φ200V 3.48kW×5台
- 13.電気湿温蔵庫 3φ200V 5.2kW×1台

電化厨房採用事例紹介 **Eサクス施設**

施設のご紹介

北海道脳神経外科記念病院は、1983年に開院して以来、脳卒中やくも膜下出血などの治療を行う脳神経外科、神経内科を専門とした高度急性期型病院として、30年以上もの間地域医療に貢献してきました。

2012年に、建物の老朽化の改善と療養環境の整備のため、回復期リハビリテーション病棟を加えた新病院を建設。急性期から慢性期までを受け入れる病院として進化しました。患者さまに療養期間を少しでも安心して快適に過ごしてほしいという想いと、エネルギーの効率的な利用、さらには災害時のエネルギー復旧能力等の観点から、空調・給湯・厨房・医療器具の滅菌用の蒸気まで、全てのエネルギーを電気で賄うオール電化としました。


中でも空調と給湯には環境にやさしく熱効率の良いヒートポンプを採用。加えて、エネルギー管理システムBEMSを導入したことで、建物が旧病棟の1.5倍になったにも関わらず、以前のガス併用時と比べてエネルギー消費量は1.4倍に留まっています。また、燃焼部分がないためボイラー技士もいらず、メンテナンスの必要がほとんどないなど、管理面での効率化も実現。未来を見据えた効率的なシステムが、患者さまの快適な療養環境をしっかりと支えています。



- 所在地／札幌市西区八軒9条東5丁目1-20
- TEL／011-717-2131
- FAX／011-717-2688
- ホームページ／<http://www.hnsmhp.or.jp/>

施設概要

■調理能力 120食／回(朝100食・昼170食・夕100食) ■厨房面積 270㎡

お問い合わせは  一般社団法人 **日本エレクトロヒートセンター** JAPAN ELECTRO-HEAT CENTER
 〒103-0011 東京都中央区日本橋大伝馬町13番7号 日本橋大富ビル6F
 Tel.03-5642-1733 Fax.03-5642-1734